

「お兄ちゃんっ!!今日は私達2人の
結婚式だったのに、私が呼んだ友達のおっぱい
ジロジロ見てたでしょ??何考えてんの!」

「み、見てない...!一瞬、チラッと見ただけで」

「他の女の子のおっぱいに目移りするような
わるい旦那様は、パイザリの刑だからね!
射精我慢できなかったら、今日から新婚旅行中は
ずっと本番なし!!」

「そ、そんなあ...!あっうあああああ!!」



「あれ〜？もう射精しそうなの〜？
でも我慢！我慢だよ♪
このまま射精しちゃったらハネムーンで
セックスできなくなっちゃうよお??」

「ううう…じ、焦らさないでくれエ…!!
も、もう限界だ…!!
は、早く、早く射精させて」



「ほんとにダメな人だなあ、お兄ちゃんは♡
それじゃ、ほら。射精したかったら、
いつもみたいにねだりしないと♡」

「あ、愛してる妹おおおお…!!
こ、こもりいいいい!!
し、死ぬまで妹の奴隷になるから…!!
頼む…!頼むから、つ、続きを」



「よく言えました♥♥」

「あっあああああ!!」

「情けない顔♥こんなダメなお兄ちゃん、
私じゃなかったら誰も結婚してくれないんだから
感謝してよね♥♥」



「あっ…♥出た出た♥♥」



「あーあ、結局パイズリ我慢できなかったねー。やっぱりお兄ちゃんは私のおっぱいじゃないとびゅっびゅできないんだ♡」

「じゃあ、またパイズリ続けるね??」

「あ、あのお……や、やっぱり、結婚初夜だし、本番も——」

「だめー☆今日はパイズリしかしてあげない♡」

ド
プ
ン
♡
ド
プ
ン
♡

「どう?? すつきりした? 旦那様やっぱり今から本番する??」

「も、もう…無理……ゼエ、ゼエ……」

「疲れてるみたいだから、もう新婚旅行キャンセルして、家でずーっとエッチしようか♡♡」

「びゅっびゅ……」

ドロォ…♡

ドクン…

ビュン…